

## KDKセミナー2016のご案内

オリンピックをテーマに、スポーツ工学および人間工学における研究・開発現場などでの技術動向に関してご講演いただくとともに、各種シミュレーションの事例を紹介します。  
どなたでも参加可能です。是非お申し込みください。

◆日 時 / 2016年10月28日(金) 13:00～17:50 (受付開始12:30)

◆会 場 / 北九州商工会議所 大会議室 (毎日西部会館 9階)

[http://mai-b-seibukaikan.com/?page\\_id=22](http://mai-b-seibukaikan.com/?page_id=22)

◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK)

<http://kdk.firebird.jp/>

◆共 催 / 北九州商工会議所

◆参加費 / 無料 ◆定員 / 100名

### 《スケジュール》

#### 第1部 13:00～14:40

【司会：未定】

- 13:00～13:10 ◇開会挨拶 KDK会長 佐賀大学 萩原 世也
- 13:10～14:00 ◇基調講演 福岡工業大学名誉教授 工学博士 溝田 武人 様  
「スポーツボールの3次元飛翔挙動に関する謎解き」
- 14:00～14:40 ◇特別講演 ミズノ株式会社 大森 一寛 様  
「スポーツ用具とCAE」
- (休憩 14:40～14:50)

#### 第2部 14:50～16:55

【司会：(株)高田工業所 三田様】

- 14:50～15:15 ◇事例紹介1 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 山本 圭一郎 様  
「熱流体解析を活用した県内企業への支援事例の紹介」
- 15:15～15:40 ◇事例紹介2 計測エンジニアリングシステム株式会社 マーケティング部 部長 児島 正哲 様  
「COMSOL Multiphysicsでスポーツ中継を楽しもう！」
- 15:40～16:05 ◇事例紹介3 SCSK株式会社 峯村 貴央 様  
「大規模構造解析ソフトウェア ADVENTURECluster 最新活用事例のご紹介」
- 16:05～16:30 ◇事例紹介4 サイバネットシステム株式会社 榊原 孝志 様  
「ANSYSが提供する新しいCAE環境」  
～次世代マルチフィジックス解析ツール「ANSYS AIM」のご紹介～
- 16:30～16:55 ◇事例紹介5 株式会社ソフトウェアクレイドル 山下 勝資 様  
「回路・基板設計者向け熱解析ツール「PICLS」のご紹介」
- (休憩 16:55～17:05)

#### 第3部 17:05～17:50

【司会：佐賀大学 萩原先生】

- 17:05～17:45 ◇パネルディスカッション  
「スポーツ工学および人間工学におけるシミュレーション」
- 17:45～17:50 ◇アンケート記入

懇親会 18:20～ 会費 4,000円 場所:ぶんぶく茶屋 小倉店  
北九州市小倉北区魚町2-6-15-1F tel 050-5845-6823

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆お申し込みは、下記申込書にてFAX、またはメールにてどうぞ。
- ◆申し込み期限は 10月26日
- ◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 山口(アイグラフ) まで  
TEL 093-644-2397 FAX 093-644-2398 E-mail: ig01yama@nifty.com

有限会社アイグラフ 山口 行 FAX 093-644-2398

〈申込み締切り10/26〉

### 「KDKセミナー」申込書

事業所名		電話番号	
住 所		FAX番号	
氏 名		懇親会	出席 欠席

## 講演概要

◇基調講演 福岡工業大学名誉教授 工学博士 溝田 武人 様

「スポーツボールの3次元飛翔挙動に関する謎解き」

### 【概要】

硬式野球ボールの変化球であるナックルボール、2シームボールなどは左右に鋭く曲がったり急激に落ちたりして、打者が打ち損じる。サッカーの無回転シュートは上下左右に鋭く変化してキーパーが捕れない。クラブで打たれたゴルフボールは羽が生えているかのように長距離飛ぶが、右や左に曲がりすぎるスライスやフックは悩みの種である。何故そのようなことがおきるのか？これらの疑問を空気力学的な立場で研究した結果を述べる。

◇特別講演 ミズノ株式会社 大森 一寛 様

「スポーツ用具とCAE」

### 【概要】

CAEはスポーツ用具開発には有効な手段です。スポーツ用具は様々な材料で構成されていますが、FEM上で再現が可能です。また、ヒトのモデル開発も進んでおり、用具とヒトとの連成が可能になってきました。ここでは、FEM解析をベースとした用具開発の事例をいくつかご紹介したいと思います。

◇事例紹介1 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 山本 圭一朗 様

「熱流体解析を活用した県内企業への支援事例の紹介」

### 【概要】

福岡県工業技術センター機械電子研究所ではCAEを活用した県内企業への技術支援に力を入れており、発表では汎用及びオープンソースの熱流体解析ソフトウェアを活用した支援事例を紹介します。

◇事例紹介2 計測エンジニアリングシステム株式会社 マーケティング部 部長 児島 正哲 様

「COMSOL Multiphysicsでスポーツ中継を楽しもう！」

### 【概要】

COMSOL Multiphysicsの開発元であるCOMSOL社は、サッカー強国スウェーデン・ストックホルムと、米国大リーグ球団ボストン レッドソックスのホームタウン・ボストンに拠点を持っていて、スタッフもさまざまなスポーツに興味を持っています。彼らがスポーツを数値計算しちやった事例をご紹介します。

◇事例紹介3 SCSK株式会社 峯村 貴央 様

「大規模構造解析ソフトウェア ADVENTURECluster 最新活用事例のご紹介」

### 【概要】

純国産の構造解析ソフトウェアとして稀有な存在である”ADVENTURECluster”はユーザの意見をいち早く機能開発に取り入れ、日々進化を続けている。本セッションでは”ADVENTURECluster”の圧倒的な大規模高速計算性能を活かして製造業の開発業務で活用されている最新事例を中心に紹介する。

◇事例紹介4 サイバネットシステム株式会社 榊原 孝志 様

「ANSYSが提供する新しいCAE環境」～次世代マルチフィジックス解析ツール「ANSYS AIM」のご紹介～

### 【概要】

「ANSYS AIM」は、全ての設計・解析エンジニアのための新しいCAE環境です。構造、伝熱、流体、連成などの多様な解析が、単一のGUIで実施できるだけでなく、全分野に対応したテンプレートが装備されているため、設計部門へのCAE展開や、専門領域外の解析を容易にします。さらにジオメトリ作成や最適化、カスタマイズ機能も有しており、これ一本でCAEを用いた様々な簡易検証が可能になります。本セッションでは各種デモンストレーションを通じて、ANSYS AIMの持つ操作性/機能性をご紹介します。

◇事例紹介5 株式会社ソフトウェアクレイドル 山下 勝資 様

「回路・基板設計者向け熱解析ツール「PICLS」のご紹介」

### 【概要】

当社は回路・基板設計者が手軽に利用できる基板の熱解析ツール「PICLS」をリリースいたしました。PICLSの開発背景や機能のご紹介に加え、解析事例をご紹介します。